

「ATOK」におけるセキュリティ上の弱点(脆弱性)の注意喚起

IPA(独立行政法人情報処理推進機構、理事長:西垣 浩司)は、「ATOK」におけるセキュリティ上の弱点(脆弱性)に関する注意喚起を、2009年9月2日に公表しました。

URL: http://www.ipa.go.jp/security/vuln/documents/2009/200909_atok.html

この脆弱性は、「ATOK」をインストールした PC のスクリーンロックの制限を回避されてしまうというものです。悪用されると、その PC 上で任意のコマンドやプログラムを実行されてしまう可能性があります。対策方法は「**開発者が提供する対策済みバージョンに更新する**」ことです。

1. 概要

株式会社ジャストシステムが提供する「ATOK」は、日本語入力システムです。

「ATOK」には、PC のスクリーンロックの制限を回避できてしまう弱点(脆弱性)が存在します。この弱点が悪用されると、任意のコマンドやプログラムを実行されてしまう可能性があります。

詳細は、次の URL を参照して下さい。

<http://www.justsystems.com/jp/info/js09003.html>

最新情報は、次の URL を参照下さい。

<http://jvndb.jvn.jp/jvndb/JVNDB-2009-000057>

本脆弱性情報は、情報セキュリティ早期警戒パートナーシップに基づき、2009年4月23日に以下の報告者から IPA が届出を受け、JPCERT/CC(一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター)が製品開発者と調整を行ない、2009年9月2日に公表したものです。

報告者:グーグル株式会社 工藤拓 氏

2. 脆弱性による影響

攻撃者が、スクリーンロックのかかった PC に対して特定の操作を行った場合に、スクリーンロックの制限を回避できてしまいます。結果として、その PC のローカルシステムアカウントの権限で、任意のコマンドやプログラムが実行されてしまう可能性があります。



